

●火薬廠の跡地利用

火薬廠跡地は、戦後各種の公共機関や学校、総合公園などとして利用されているとともに、自動車・化学関係の工場ができて戦後の経済発展を支えてきた。一部には往時の「火薬廠の塀」の名残も残っている。交通上は、現在も東西に貫通する道路が少ないという状態がある。



⑨火薬廠北端の道。山崎製パンからが火薬廠の北東端にあたる。



⑩山崎製パン東の小林運輸。正面三共工場の壁が火薬廠内引込線の名残。



⑭バス通りからそれた斜めの道に火薬廠の塀が残る。高橋工業所。



⑮平塚中等教育学校正門近く。手前のヘルシーロードは、火薬廠内を流れる下田川だった。



⑯中原 1-1 にある祠。この路地が寄宿舍の北端である。



⑰県道 61 号伊勢原線六本北交差点。左に曲がる道が、寄宿舍群と民有地の境だった。



⑱県立ろう学校の西側の塀に残る高い柱。火薬廠寄宿舍群の正門だった。



⑲共済病院に残る旧外来診療棟の車寄せ。



⑳東官舎と共済病院の間の道。火薬廠時代の鉄筋入りのコンクリート柵が残る。



㉑左奥が追分交差点。斜めに西に向かう旧秦野道に沿って火薬廠の塀があり、中に東官舎が続いていた。



⑪横浜ゴム中原工場北側の道



⑫横浜ゴム中原工場東側外壁。火薬廠の北東外郭にあたる。



⑬八重樫本舗の研究棟を南から見る。クランク状の道路に火薬廠外郭の形が残る。南には、下田川が流れている。



㉔総合公園南側の道路が、大島明石線に合流する、大原交差点。パイロット平塚工場付近は火薬廠第一工場だった。



㉕西八幡 1 丁目、湘南リンテック正門付近には、火薬廠の塀が残る。



㉖高栄産業の外壁。火薬廠の塀が残る。



㉗高砂香料正門。相模海軍工廠化学実験部が、美術館まで続いていた。



㉘富士チタンの中には火薬廠を象徴する大きな三本の煙突があった。のこぎり屋根の工場が往時をしのばせる。



㉙県道 606 号大島明石線の西側、東京電力と足立製作所。このあたりが、第四工場。



㉚横浜ゴム平塚製造所正門。火薬廠の正門にあたる。



㉛横浜ゴムと社会福祉会館の間が引込線入口。



㉜中央公民館北側の浅間緑地。変電所や充電施設があった辺り。